

ザイリックス、WDM & Next Generation Optical Networking Conference 2012 で All Programmable OTN ソリューションをデモンストレーション

ザイリックスの OTN IP ポートフォリオにより、通信/ネットワーク分野の OEM 企業が、
Time-to-Market の短縮と TCO 削減を行いながら製品のイノベーションと差別化を実現

ザイリックス社 (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、NASDAQ：XLNX) は 6 月 14 日 (米国時間)、モナコで開催される WDM and Next Generation Optical Networking Conference 2012 (WDM & 次世代光ネットワーク コンファレンス 2012) において、同社の All Programmable テクノロジーの展示を行い通信事業者向けの光ネットワークにもたらすメリットを紹介する。展示は、次世代 (CFP2) 光モジュール向けの 28Gbps トランシーバーを搭載したザイリックス 28nm Virtex®-7 HT FPGA、100G 光伝送ネットワーク (OTN) 向けの各種プログラマブル ソリューション、および 10G から 28G の高速シリアル アプリケーションのデモンストレーションを中心に行う。

イベント： WDM & 次世代光ネットワーク コンファレンス 2012
場所： モナコ、グリマルディ フォーラム
会期： 2012年6月18～21日

本イベントでは、ザイリックスのトランシーバー専門家や経営幹部が出席してビジネス戦略について語るほか、100G OTN コネクティビティ ソリューションのデモンストレーションを行う。このソリューションは、28Gbps トランシーバーを備えた世界初の 3D ヘテロジニアス All Programmable FPGA となる Virtex-7 H580T FPGA を含む業界最先端の 28nm Virtex-7 FPGA 上で実装されている。さらに、光インフラストラクチャ アプリケーション向けの前方誤り訂正 (FEC) についても取り上げる。

ザイリックスの有線通信グループ担当ディレクターであるジル ガルシア (Gilles Garcia) は、「ザイリックスの All Programmable テクノロジーと All Programmable デバイスは、通信事業者が顧客ニーズに応えるために必要な性能、エネルギー効率、スケーラビリティに加え、将来に渡って有効なセキュリティ性能を実現します。当社の先進的 FPGA ポートフォリオは、極めて高いロジック容量を備え、光有線ネットワーク アプリケーション向けの広範な IP ソリューションを、幅広い開発ツールと技術サポートと共に提供するため、サービス プロバイダーの設備投資と運用コストの削減を実現する理想的なソリューションです」と述べている。

ブースでのデモンストレーション

ザイリックスの All Programmable ソリューションは、少量から量産対応までさまざまな規模の有線アプリケーションの開発に最適化されたプラットフォームの提供を目指しているため、通信マーケットにおける市場標準の急速な変化に容易に対応可能である。本イベントでは、OTN の主要な機能要素の開発を加速する次のプラットフォームにおけるデモ実演を行う。

● 100G トランスポンダ/Muxponder プラットフォームのデモンストレーション

OTN に準拠したハードウェア インターフェイスとの優れたジッタ特性を紹介する。同じプラットフォーム上で Virtex-7 HT FPGA 10 X 10G Muxponder を動作させることによって、高品質トランシーバーを備えた、低コストおよび低消費電力を実現しながら、高度に統合されたソリューションの構築が可能になることを実証する。Muxponder のデモンストレーションは業界をリードする測定機器と相互運用が可能で、10G クライアントを完全に可視化できるため、OTN ソリューションに最適な FPGA プラットフォームである。

● 最先端 28nm テクノロジーのデモンストレーション

ザイリンクスの最先端 28nm デバイス テクノロジーのメリットとして、Virtex-7 HT 580T FPGA が 28Gbps コネクションを介して 100G CFP2 光モジュールと直接通信するデモンストレーションを行う。このデバイスは 28Gbps トランシーバーを 8 個搭載しており、ロジック容量も豊富なため、デュアル 100G OTN トランスポンダをシングルチップで実現できる。これを ASSP ベースのソリューションで行う場合、IC が 5 個も必要になるだけでなく、消費電力は 40%、コストは 50% も増大するうえ、この先 1 年は提供が開始されない。

Virtex-7 HT デバイスは、ザイリンクスのスタックド シリコン インターコネクト (SSI) テクノロジーを採用した業界で最も広い帯域幅を実現した FPGA で、28Gbps トランシーバーを最大で 16 個、13.1Gbps トランシーバーを 72 個搭載し、200G および 400G の主な OTN アプリケーションに対応するソリューションをシングル チップで実現できる唯一の FPGA 製品である。また、Virtex-7 HT デバイスは、コア FPGA と 28Gbps トランシーバーをヘテロジニアスに 3D 実装しているため、システムの消費電力を低減できるだけでなく、ノイズ分離に優れており、最高のシグナル インテグリティとシステム マージンを達成し、デザイン クロージャの生産性向上によって市場投入までの期間も短縮できる。

パネル ディスカッションとコンファレンス プレゼンテーション

パネル ディスカッション : 6 月 20 日 (水) 16:15~17:15

「100G の先へ – ベンダーの成功にとってコンポーネントが重要な理由」

パネラー : Ciena 社ネットワーク アーキテクチャ担当ディレクタ マーク ギボン博士 (Dr. Mark Gibbon)、Infinera 社 ソリューションおよびテクノロジー担当ディレクタ ジェフ ベネット (Geoff Bennett)、ザイリンクス有線通信担当ディレクタ ジル ガルシア (Gilles Garcia) など

コンファレンス : 6 月 21 日 (木) 16:20~16:40

「100G ~ 400G 光伝送ネットワークのためのプログラマブル テクノロジー – 本当に価値ある提案は何か？」

システムレベルの性能向上や BOM コストの削減、総消費電力の低減といった通信事業者のニーズに対して、ザイリンクスの 100G ~ 400G OTN 向け All Programmable テクノロジーが提供するメリットをザイリンクスのジル ガルシアが解説する。

ザイリンクスについて

ザイリンクスは、ハードウェアおよびソフトウェアのプログラマビリティを可能にするだけでなく、デジタルおよびアナログ ミックスド シグナルの機能の実装、そしてモノシックおよびマルチ ダイ 3D IC 双方における新しいレベルのプログラマブル インターコネクトを実現する、従来のデバイスの枠を超えた All Programmable テクノロジーおよびデバイスの世界的なリーディング プロバイダーである。業界をリードするこれらデバイスを次世代設計環境および IP と共に提供することで、プログラマブル ロジックからプログラマブル システム インテグレーションまで、幅広いユーザー ニーズに応える。詳しい情報は、ウェブサイト japan.xilinx.com で公開している。

※ ザイリンクスの名称およびロゴ、Artix、ISE、Kintex、Spartan、Virtex、Vivado、Zynq、その他本プレスリリースに記載のブランド名は米国およびその他の各国のザイリンクスの登録商標または商標です。その他すべての名称は、それぞれの所有者に帰属します。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へ

ザイリンクス株式会社 マーケティング本部 竹腰 TEL: 03-6744-7740/FAX: 03-5436-0532

株式会社井之上パブリックリレーションズ ザイリンクス広報担当 鈴木/関 TEL: 03-5269-2301/FAX: 03-5269-2305

記のザイリンクス株式会社 Web サイトもご参照ください。

- ・ トップページ : <http://japan.xilinx.com/>
- ・ プレスリリース (日本語) : http://japan.xilinx.com/japan/j_prs_rls/
- ・ このリリースの全文は次の URL を参照のこと :
http://japan.xilinx.com/japan/j_prs_rls/2012/fpga/virtex-7-100g-otn-connectivity-solution.htm